

『稲』づくりは条件の良い「土」から！

高温等の気象変動に打ち勝つ“積極的な土づくり”

1. 土壌改良資材の施用による 不足養分の補給と酸性の矯正

ごま葉枯病の
発生低減！



土壌の酸性化
防止！



令和8年産米
1等比率
95%以上

アルプス農協管内は
カリ・ケイ酸分が不足！

2. 有機物の施用による腐植の増加

稲わらはしっかり
すき込み
土づくりに活用

異常気象に
強い稲に
仕上げよう



3. 深耕等による作土深の確保と 排水性の改善



ゆっくり
ていねいな
耕起作業で、
作土深15センチ
以上を確保！

春の農作業安全運動実施中！
令和8年3月1日～5月31日